

第25回 ウィンドサーフィン全日本WAVE選手権

開催日：2026年1月9-12日

開催地：静岡県御前崎市ロングビーチ

後援：御前崎市

助成：(独)スポーツ振興センター



[スポーツ応援サイト GROWING by スポーツくじ\(toto・BIG\)](#) [スポーツくじによるスポーツ振興助成について](#)



爆風に翻弄されながらも、挑戦と成長が色濃く表れた大会だった。

■大会概要

本大会は4日間の日程で開催された。9日（金）はプロクラスのみ、10日（土）はプロクラスおよびアマチュアクラス、11日（日）・12日（月・祝）はアマチュアクラスの競技スケジュールが組まれた。

■1日目（1月9日・金）プロクラス

この日は風がまったく吹かず、波はあるものの競技を行えるコンディションにはならなかった。結果として、プロクラスの競技は実施されず、この日は終了となった。

■2日目（1月10日・土）プロクラス／アマチュアクラス

この日も弱風予報ではあったが、南風から西風へと振れ変わる可能性が示されていた。期待は薄いものの、一縷の望みをかけて風待ちの判断となった。

夕方以降に風が吹く可能性が高かったため、午前中はビーチクリーンなど競技以外のイベントを実施。ロングビーチでは地元マリンスポーツ愛好者が定期的にビーチクリーンを行っており、大切にされているゲレンデを大会としてお借りしている。

集められたゴミは市の担当者に確認のうえ、キャタラー株式会社（[Shinka（親花）CSR活動](#)）の協力により設置された回収BOXへ投入した。



しかしながら、この日も競技が可能なコンディションとはならず、プロクラスの競技スケジュールは終了となつた。

■3日目（1月11日・日）アマチュアクラス

この日からはアマチュアクラスのみのスケジュール。前日までとは打って変わり、20m/s オーバーの爆風予報が出された。

朝の早い時間帯は 15m/s 前後で、波のサイズもありコンディション自体は非常に良好。しかしアマチュア選手にとっては難易度の高い状況でもあった。さらに風が強まる予報を踏まえ、スペシャルクラスとグランドマスタークラスのみ競技を開始する判断となった。

インサイドとアウトサイドで風速差が大きく、道具選択が勝敗を左右する難しいコンディション。スペシャルクラス 1 回戦では、馬場選手 vs 勝又選手、多賀須選手 vs 田阪選手が対戦。勝ち上がったのは地元・御前崎をホームとする勝又選手と田阪選手だった。

反対側のヒートでは、松本選手 vs 大館選手、桜井選手 vs 柳川選手が対戦。松本選手は会場へ向かう途中でタイヤのパンクというトラブルに見舞われ、競技時間ギリギリに到着したものの、コンディションと道具のマッチングに苦しみ敗退。柳川選手も良いライディングを見せたが、時間内にまとめ切れず敗退となった。次のラウンドへ進んだのは大館選手と桜井選手。

続くグランドマスタークラスでは、間嶋選手 vs 山川選手、藤田選手 vs 浦川選手のヒートが行われた。競技中盤以降、強烈なブローが入り始め、アウトサイドでのウォータースタートも困難な状況に。早い時間帯に演技をまとめた山川選手と浦川選手が勝ち上がったが、終盤は安全を優先し早めにビーチへ戻る判断となった。

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY3

このヒートを境に御前崎灯台の風速計は 26m/s を記録。瞬間的には 30m/s を超えていたと推測される。



危険なコンディションと判断し、アマチュアクラスの競技は中断。この時間帯を利用してプロ選手のセッションも検討されたが、安全面を最優先し、プロ選手によるフリーセイリングとして実施された。

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY3 ←フリーセイリングのアーカイブ

この日は天候の回復が見込めなかつたため、試合進行は最終日に託す判断となり、時間を有効活用するため、協賛各社から提供いただいた賞品を用いたアマチュア選手向け抽選会を実施した。

ご協賛いただきましたショップ・企業のご紹介。(順不同)

TA5 SURF 様／(有)THE BLUE 様／BAGUS SURF 様／Chami 様／(株)モビーディック 様／(有)EO 様
STARBOARD JAPAN(株) 様／(株)マニューバーライン 様／(株)ON'S COMPANY 様









ご協賛いただきました皆様、誠にありがとうございました。

■4日目（1月12日・月・祝）最終日

最終日はアマチュアクラスの多くの競技が残る状況で迎えた。前日にはディレクターとの綿密な打ち合わせを行い、複数の進行シミュレーションを想定。当日のコンディションに合わせ、最善策を模索した。

当日は予定より早く集合し、選手・スタッフともに準備を開始。前日の爆風は各所に爪痕を残していたが、競技自体は可能と判断。ただし波のサイズと強風を考慮し、安全面を最優先して1海面・少人数での進行とした。この判断により、WAVEクラスは不成立となることが確定した。

*メインとなるクラスを優先的に行う為、日没の時間から逆算した結果を踏まえ、不成立と判断している。

競技はグランドマスタークラスから再開。セイルサイズは3.3~3.7m²、波は胸~肩、セットで頭サイズと非常に良いコンディション。スペシャルクラス、オープンクラス、ウィメンズクラスと順調に進行した。

ロングビーチ特有のインサイドとアウトサイドの風の強弱により、道具選択と波の見極めが非常に難しい一日となったが、ジャンプとウェイブライディングをバランス良くまとめた選手が確実に勝ち上がっていった。

インサイドの波のホレるセクションでジャンプをさせてもらえない状況が続く。

ウェイブライディングでも波の選別の問題もあるが、ターンの途中で失速する選手が多く、パワーのあるリップセクションでトップターンが決まらないことも多かったように感じた。

そんな中、ジャンプとウェイブライディングと揃えた選手が確実に勝ち上がって行き、セミファイナルに残っていた。

最初に決勝戦を戦ったのはウィメンズクラス 田阪選手V.S秋田

過去に優勝経験もある田阪選手と対戦するのは、最近メキメキと実力を付けて来ている秋田選手。

最初から飛ばしていく二人は、開始早々フォワードループの応酬。

波乗りでもいい波を捕まえて来る二人。同じように良いセクションでターンを繰り出すのも、スピードやターンの深さなど、少しずつ差が開いていく。

ウィメンズクラスの優勝は、田阪選手となった。同じように演技を披露する二人だったが、田阪選手の方が、ジャンプもウェイブライディングも完成度が勝っていた。

秋田選手のこの1年でグッと成長した姿を見ていると、来年は更に強敵となって田阪選手の前に立ちはだかりそうだ。



30分のウェーティング後、ビギナークラスのメンズとウィメンズを各1ヒート行うことになった。
プロ選手の手厚いサポートを入れ、安全を確保しつつチャレンジしてもらうことになった。

ビギナーメンズクラスで優勝したのは、齊藤選手。齊藤選手は、親子でウインドサーファーでジュニア・ユースの時にはオリンピック艇種に乗り、学生時代は学連に入りトップ選手として活躍していた選手だ。
大学を卒業し、WAVE にチャレンジしてくれたことは本当に嬉しい。

2位は二俣蓮生選手。なんと小学4年生！果敢にチャレンジをする姿には、誰もが目を疑い、目を奪われ、自然と応援していたことだろう。この日、彼はフォワードループまでチャレンジしたのだから、本当にビックリだった。将来の目標は「JAWS に乗る！」という彼は、数年後には本当に JAWS に乗っているように思う。

ビギナーウィメンズクラスで優勝したのは、二俣心虹（ここな）選手。先にご紹介した二俣蓮生選手のお姉さんで小学6年生、彼女にも大変驚かされました。荒れ狂った海の沖にぐんぐん進んでいく姿は、ハラハラさせられつつも頼もしく、果敢にチャレンジする姿は、人を感動させるものがあった。
さらに、フォワードループにもチャレンジしている姿は、「この姉弟どおなってるんだ～！」と心の中で叫んでいました。

彼女も将来の目標は「JAWS に乗る！」という素晴らしい目標を持っている。女性で JAWS に乗っているウインドサーファーは殆どいないのでは非頑張って欲しい。二人には、JAWS に初の姉弟としてチャレンジして、あの BigWave に乗ってもらいたい。

2位は清水千尋選手。ウインドサーフィンを始めて2年弱という彼女は、ダウンザラインがしてみたくて WAVE を始めたそうだ。若干2年？ウインドサーフィンを始めて？ ウインドを始めて2年で WAVE ボード

に乗ることも凄いのに、ハードな海にチャレンジする姿は本当に凄いと思う。このガッツがあれば必ずダウザラインもできるようになるでしょう！また1年頑張って、来年の全日本WAVEで上達した姿を見せてくださいね。

3位は柳澤選手。逗子でウインドサーフィンを行っている中学生。こんなにハードな海に入るのは初めてだったのではないだろうか。果敢にチャレンジし何度もトライをしている姿をみて、きっと近い将来はこのコンディションで楽しく乗れている事でしょう。

今回のコンディションでビギナークラスの皆が果敢にチャレンジする姿は、本当に称賛に値する事だと思います。

来年の全日本WAVE選手権で上達した姿が見れることを楽しみしています。



続いて、オープンクラスでセミファイナルに進んだのは、新美選手VS安田選手、服部選手VS白樺選手。波乗りに定評のある新美選手だったが、安定して演技を披露してくれた安田選手が勝ち上がった。波に乗った数は白樺選手が勝っていたと思うが、粗削りながら良いセクションでターンをする服部選手が勝ち進んだ。

オープンクラス 決勝戦 安田選手VS服部選手

一昨年の第24回全日本WAVE選手権、オープンクラスのセミファイナルでも戦った二人。

その時は服部選手が勝ち、決勝に進み2位となっていた。

昨年のリベンジマッチとなるこの戦い、終始安定したライディングを見せた安田選手が念願のオープンクラス優勝を勝ち取った。



グランドマスタークラスは、山川選手 VS 池田選手、大市選手 VS 川上選手がセミファイナルへ。山川選手はメンズに混じってここまで勝ち進んできた。フォワードループにも果敢に挑戦し続けている。しかし、元プロの池田選手には敵わず、山川選手が順位決定戦へ、池田選手が決勝へと駒を進めた。川上選手のウェイブライディングが以前より鋭さを増した気がする。波崎の大会で活躍した川上選手、あの時より確実に進化している。対する大市選手、全日本SURFING、全日本SUPで活躍したのは伊達じゃなかった。いつもに増していい波をキャッチし、ジャンプも高さのあるフォワードループを繰り出していた。決勝に進んだのは、大市選手となった。

グランドマスタークラス 決勝戦、池田選手V S 大市選手

開始直後、一番に飛び出した池田選手がフォワードループ。後ろから見ていた大市選手が同じ場所で池田選手よりも完成度の高いフォワードループを飛び、ジャンプは大市選手がリード。しかし、硬くなっているのか、いい波を捕まえられない。池田選手は無難に波に乗り確実にポイントを取っていく。試合運びが上手い池田選手は、いい波をキャッチしたときには深いターンとトップターンで確実にポイントを重ねていく。決勝戦でジャンプにフォーカスしてしまったのか、大市選手は波を捕まえるのに苦戦している様に見えた。ウェイブライディングでポイントを稼いだ池田選手がグランドマスタークラス優勝となった。



スペシャルクラスのセミファイナルは、市川選手 VS 田阪選手、植田選手 VS 森田選手
市川選手はここ数年でグッと実力をつけて来た選手。12月に行われたグランドスラム大会アマチュアクラスで優勝と勢いに乗っている選手だ。対する田阪選手は、先にウィメンズクラスで優勝したのが奥様。そして、夫婦そろって全日本WAVE選手権で何度も優勝しているハイパー夫婦だ。

先に表彰台のてっぺんで待っている奥様の横に並ぶはずだったが、乗りに乗っている市川選手の勢いを止める事ができず、ここで田阪選手が敗退となった。

植田選手は御前崎ロングビーチから歩いてお家に帰れる距離に住んでいる中学生。

少し見てない間に、ものすごく上達している姿を見てとても驚いた。試合を重ねる間にも上達していたと思う程だ。

そして対戦するのは、OWC副校長の森田選手。そう、植田選手は森田選手の教え子だ。対戦が決まり試合前に植田選手にアドバイスしている姿が面白かった。「フォワードループは手幅を狭くしろよ！w」「波乗りでは膝延せ！w」このアドバイスが効いたのかは分からぬが、勝ち上がったのは森田選手だったw。

スペシャルクラス 決勝戦 市川選手 VS 森田選手

開始直ぐに市川選手がフォワードループをほぼ完着で決め、ジャンプで優位に立った。

森田選手はウェイブライディングで試合を組み立てていく。

市川選手はウェイブライディングでも波のパワーゾーンでしっかりとトップターンを行っている。さらに同じ波で2回3回と良いセクションでターンをして乗り継いでいく。

森田選手はオーバーセイルなのか波から離れすぎたターンが多く、波の崩れるタイミングに合わせられない。見えていても焦りを感じさせるライディングで、波から降りるタイミングが速くなっている。対する市川選手は落ち着き、いい波を選び、自分のライディングができている様子だった。

優勝は、勢いも乗りに乗っている市川選手となった。

この勢いが来年の全日本 WAVE 選手権でどうなるのかが今から楽しみだ！



優勝、入賞した皆様おめでとうございました。

この大会にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

この大会が皆とつながる場となり、楽しさを共有し、次世代につながる一歩となることを願う。

WAVE 委員会 委員長 吉武雅博

All Japan Wave Classic 2026 大会ダイジェスト動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 大会 1 日目①アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 大会 1 日目②アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY2 大会 2 日目アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY3 大会 3 日目①アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY3 大会 3 日目②アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY 4 大会 4 日目①アーカイブ動画

ウインドサーフィン全日本ウェイブ選手権 2026 DAY 4 大会 4 日目②アーカイブ動画

JWA WAVE 公認 FB ページ 第 25 回全日本 WAVE 選手権【アルバム】 大会記録写真